

令和2年度 建築設備工事東北ブロック会議

広報委員会 委員長
川本工業(株) 東北支店
執行役員支店長 日野 正勝



令和2年12月2日(水)午後2時より、(一社)日本電設工業協会東北支部並びに(一社)日本空調衛生工事業協会東北支部と主要発注機関とによる「令和2年度建築設備工事東北ブロック会議」が、仙台市青葉区の江陽グランドホテルに於いて開催されました。本年は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、規模を縮小して行われました。

官公庁側より、東北地方整備局、東北防衛局の中央官庁関係者と青森、岩手、宮城、山形、福島各県及び仙台市の設備関係ご担当者、総勢16名の御出席をいただきました。民側は両協会東北支部合わせて26名の参加により開催されました。

式次第は、次のとおりです(敬称略)

1. 開 会 司会進行 一般社団法人 日本空調衛生工事業協会 東北支部
事務局長 鍵 茂
2. 挨拶
民側代表 一般社団法人 日本電設工業協会 東北支部長 佐竹 勤
官公庁側代表 国土交通省 東北地方整備局 営繕部長 高橋 武男



佐竹支部長



高橋営繕部長

3. 意見交換事項

官公庁側座長 国土交通省東北地方整備局 営繕部 設備技術対策官
目黒 正浩
民側座長 一般社団法人 日本空調衛生工事業協会 東北支部長
小林 照和

- (1) 働き方改革・建設業の担い手確保について
- (2) 工期延期及び遅延に係る適切な費用負担について

- (3) 分離発注の促進について
- (4) 総合評価落札方式における配置予定技術者の参加要件緩和について
- (5) 建設キャリアアップシステム（CCUS）について
- (6) コロナ禍への対応について

官公庁側



民側



4. 閉会の挨拶

一般社団法人 日本空調衛生工事業協会 東北支部長 小林 照和

(一社) 日本空調衛生工事業協会東北支部 鍵事務局長による司会進行のもと、はじめに民側の(一社) 日本電設工業協会 佐竹東北支部長より、「今年の中央建設業審議会の改正建設業法における工期の適正化に関する規定につきましては、設備工事業界から長く要望してきた事項を取り上げて頂いたものと認識し感謝しております。しかし適正な工期の確保についてはもう一つ大きな問題である人材不足が原因でもあります。それは若者が長時間労働や休日労働を嫌い当業界が敬遠されていることにあります。今後これら工期に係る諸問題を解決するにあたっては私

共設備業界が施主や元請けの皆様と様々な場面で対等な協議をする事が必要であると考えております」との挨拶がありました。続いて官側を代表して国土交通省東北地方整備局 高橋宮繕部長様より「この会議は発注者である官公庁側と受注者である皆様が設備工事に係る現状や諸課題について率直な意見交換を行う場であると認識しております。私共にとっても大変貴重な機会です。御座いますので是非忌憚のない意見を頂ければと思います」とのご挨拶を頂きました。



小林照和支部長

その後、協会側が提示した意見交換事項に対し、官公庁側からご回答を頂く形式で進行了ました。ご出席の東北地方整備局、東北防衛局、各県、仙台市のご担当者様から見解を頂き、活発な意見交換を行いました。会議内容の詳細につきましては、後日各会員宛に議事録が送付されますのでご参照願います。

最後に（一社）日本空調衛生工事業協会 小林照和東北支部長から閉会の挨拶があり会議は終了しました。

「官公庁ご出席者名」（敬称略・順不同）

東北地方整備局	高橋 武男	営繕部長
〃	佐々木 徹	営繕部 営繕品質管理官
〃	目黒 正浩	営繕部 設備技術対策官
〃	斉藤 隆一	営繕部 整備課 課長補佐
〃	安齋 茂	営繕部 整備課 課長補佐
〃	佐藤 孝	企画部 情報通信技術課長
〃	荒関 保	建政部 建設産業調整官
東北防衛局	小山 貴弘	調達部 設備課長
〃	松本 壮央	調達部 設備課 専門官
青森県	奈良 傑	県土整備部建築住宅課 営繕指導グループマネージャー
岩手県	高橋 耕雄	県土整備部建築住宅課 設備担当 主査
宮城県	柳澤 昭博	土木部 設備課長
〃	千葉 隆史	土木部 設備課 技術副参事兼課長補佐 (統括担当)
山形県	田中 万博	県土整備部 建築住宅課 営繕室 室長補佐 (設備技術担当)
福島県	鈴木 英雄	土木部 営繕課 専門電気技師
仙台市	加藤 民夫	都市整備局 公共建築部 設備課長